

17

本市
市長
昭

昭知拾七年三月二十四日

林賴三印

中央大學長林賴三郎
文部省體育局長殿

學校教練處呈情況報告之件

學部 教 練 實 施 報 告

一 教 練、實 施 並 其 進 度、概 況

第 一 教 練 指 導 方 針 暨 教 育 重 點

ハ 教 練ニ 對スル 方 針

一 昨 春 明 示 セラレタル 學 校 教 練、目 的、ヲ 達 スル 為メ、昨 年 度 特ニ 體 驗 事 項 (主トシテ 術 科)ニ 重 點ヲ 置キ 指 導 シ、マリンガ 昨 春 學 部 教 練 教 育 進 度 表、ヲ 定メタルヲ 以テ 學 校、現 況 並ニ 從 來、於ケル上 司、講 評 等ヲ 參 酌シ 本 目 的、ヲ 達 スル 如ク 指 教 シ、アリ、

ニ 教 育 重 點

右 教 育 方 針 並ニ 當 校、現 情ニ 即シ 本 年 度 指 導 上、重 點 左、如シ 一 基 礎 的 教 育ヲ 重 視 ス

學 生 教 練ニ 對スル 素 養 程 度 並ニ ナル、ミナラス 縱、永 年 正 統 正 教 練ヲ

中 央 大 學

受ケシ、アル者ニ 於テモ 確 タル 自 信ヲ 以テ 行 動ヲ 實 施シ 得ヤレ者 比 較 的 多 數ナリ之ニ 畢 意 判 式 判 考、理 解 適 確 ナラザルニ 因ルモノ ナルヲ 以テ 判 考 セラレタル 教 練 教 科 書、ヲ 知 行 一 致、實 踐 行 動ヲ ナス 如ク 著 意 シ、ン、アリ、

二 幹 部 教 育、勵 行 ス

學 部 教 育 進 度ニ 鑑ミ 學 生 幹 部 教 育、必 要 ナルハ 勿 論 也、ノ ミナラス 特ニ 教 練 教 授 力、不 足ヲ 補フ 為メ 優 秀 志 學 生ヲ 簡 拔シ 教 育 スルノ 要ヲ 認、時ニ 般 教 育、不 便ヲ 凡、ヒ、シ、モ 之レヲ 實 施 シ、ン、アリ、

第 二 教 練 實 施 並 其 進 度、概 況

本 教 育 年 頭 初ヨリ 前 述 セル 方 針 及 着 想、下ニ 概 テ 予 定、如ク 實 施 ス 其、概 況 左、如ク 實 施 時 間 左 表、ノ 如シ 一 軍 事 基 礎 的 能 力、涵 養

學術科處實施之際、主として教練教科書を以り、摘講指導を以り、別式に
別業、種別のカミシレ外學徒一般の知識を以り、不足表の一部を改正し、予習を
便するに如く、關係事項を摘記せり之が効果、未だ知れぬ由なき也、熱心な
學生、事前、研究力、實施に當り、着意適切を以り、
尚基礎的教育を強化する為、本教育年初頭より、教務課と連
繫し、高難を排し、一般、教授單位の一部を變更し、教練指導を
シカマシ、アリ。

具、海具情良好ナルモト認ム

2. 教練、日常化

教練を通じて學徒生活に具現すべき事象、廣汎に近代情勢の
學内、各種行事が教練と密接不離の關係を以り、機會多ク特
ニ奉公團報國隊、結成等を通じて本職を中心として、團體訓練
見ルベキ事アリ、大に意を強ムルモ、アリ、就中昨夏實施セラレタル消防訓
練に當り、犧牲的精神を發揮し、結果を以り、收メタルモト認ム

中央大學

3. 野營

本年夜野營實施に當り、須習場使用時場所之支障を來シルコト
アルモ、各難を排し、各學年共進度表規定、演習を實施せり
特ニ第三學年、軍事講習は、最初、故ヲ以り之を指導すに注意ヲ倍
加シ、内務起居、嚴正ヲ圖リ、衛兵勤務を實施せし、具、成果良好ナ
ルモト認ム

尚昨秋習志野原附近に於て、學部連合野外演習に於て、具、成果
良好ナリ。

昭和十六年學部敎練實施時間表

學年/區	平常時	野營	火	他	計	摘	要
第一學年	五八	四〇	一〇	一〇	一〇八		
第二學年	五八	四〇	一〇	一〇	一〇八		
第三學年	四八	四〇	一〇	一〇	一〇八		
備考	一、其他、主トシテ報國隊ノ諸行事中敎練ト特ニ密接 九行事トス						

六、學生ノ勤怠ノ概況

一、一般學生ハ時局ノ重大性ヲ認識スル共ニ昨春以降敎練成績カ
 卒業ノ成否ニ重大ナル關係アルヲ知リ特ニ敎練檢定ノ可下カ
 卒業後ニ大ナル關係ヲ來スニ至リタルヲ以テ漸次勤發眞摯ノ風

中央大學

分生セルカノアルヲ認ム

二、本校學生ノ大部ハ學風タル「實質剛健」意ヲ體シ思想穩
 健ナルヲ認ム然レ共一部學生ニ尚自由利己ノ觀念ヲ抱懷スル
 モノナントモ又野營中ニ指導上特ニ注意ヲ要スルモノアリ

三、平常時及野營ニ於ル學生卒業表一如シ

平常時及野營時卒業表

學年/區	入員	平常時	野營畢業
第一學年	八〇	八〇	八〇
第二學年	(八〇)	(八〇)	(八〇)
第三學年	(八〇)	(八〇)	(八〇)
合計	二四〇	二四〇	二四〇

三、教練設備（銃器、負數保管情態等）に関する必要事項

八、主要ナル兵器左之如シ

一、小銃	ノ 三八式歩兵銃	五、八九個	メエノ外射撃専用トシテ五〇個ノ三八式歩兵銃アリ
	ハ 南部重銃	八、〇個	
	ロ 鹵獲銃	一、一五個	
	四 針	七、八四個	
二、輕機関銃		一、八個	
三、擲彈筒		二、四個	
四、指揮刀		二、五個	
五、銃劍術防具		一、二〇個	
六、木銃		三、〇〇個	

尚教練用ノ銃ハ〇〇個ヲ購入備附ノ予定ナリ

中央大學

之保管ノ情態

右兵器ヲ學部予科専門部ニ於テ共用シ居ルヲ以テ此レガ取扱整備ノ困難ヲ来シ、イリ。

新調ハ〇〇個ヲ購入備附ヲ得レバ各部科毎ニ五分整備ノ事ナリ。

四、修業年限及配屬將校ニ関スル事項

八、修業年限	三、五年
學生定員	一、三二〇
現在學生數	一、七六〇

二 配屬將校及教練教師之關元事項

姓名	職	年	給	俸	職年	配屬	年	職	年
渡邊 匡夫	東部軍司令部	五	六	六	一	配屬將校	一	三	三
長南直次		六	一	六	一	配屬將校	一	三	三
大野 光		三	六	三	六	教練教師	一	三	三
佐藤英雄		四	九	四	九	教練教師	一	三	三
窪田清太郎		五	三	五	三	教練教師	一	三	三

中央大學